

〈2月前期選抜〔C日程〕〉

問題 A（見て描く）、問題 B（想像して描く）のいずれか 1 つを選び、画用紙の表面の右下に選んだ問題（「A」または「B」）を明記しなさい。選択した問題の解答を鉛筆と色鉛筆を用いて、画用紙の表面にフリーハンドで描きなさい。

なお、画用紙の裏面には必要事項を記すこと。

【問題 A（見て描く）】

配付された正方形の用紙の片面を暖色の色鉛筆で塗りつぶしなさい。もう一方の面には寒色の色鉛筆で同心円を描きなさい。

この紙の同心円を描いた面を内側にして折り目がつくように握りつぶしたあと、同心円を描いた面が表側になるよう軽く広げて机の上に置きなさい。

広げた紙の一部にあなたが持参した机上にある文房具 1 点を選び重なるように配置し、紙の裏側が一部見える角度で描きなさい。

なお、同心円の太さや数、文房具の種類、置き方・重なり具合など、与えられた条件以外は自由に設定してよい。

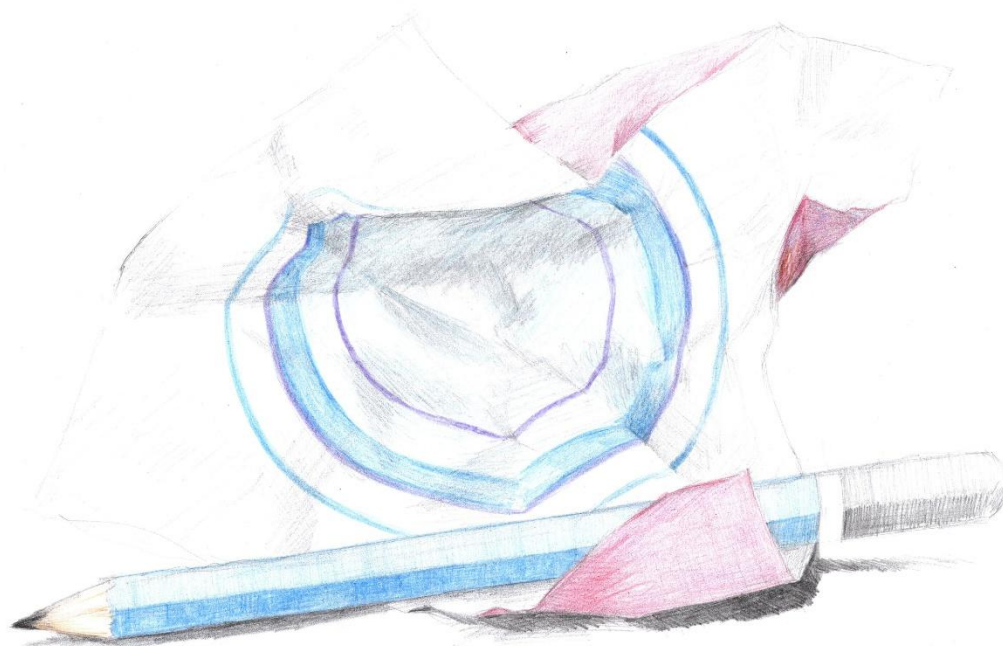
【問題 A の解説】

まず、問題文全体に目をとおり、描画する要素を把握します。この問題では、正方形の用紙両面への着彩が色指定で指示されているため、指示された着彩をおこなった状態と、握りつぶした状態をイメージすることが重要です。

机上にある文房具をどのように置くと安定して美しい構図になる

のか、文房具の色と着彩した色との関係をイメージすることも大切です。

指示された状態を作ったあと、それぞれの材質が伝わるように描き、陰影を加えて立体感が出るようにします。



次頁に続く

【問題 B（想像して描く）】

透明なアクリルでできた風呂桶が白い空間にある。風呂桶の中にはシャンプーボトルとリンスボトルが入れられており、風呂桶のフチにはタオルが掛けられている。

タオルにはあなたのイニシャルが入っている。この状態を想像して描きなさい。

なお、風呂桶やボトルのデザイン、タオルの配置など、与えられた条件以外は自由に設定してよい。

【問題 B の解説】

まず、問題文から描くべき要素と条件を確認し、その状態をイメージします。それぞれをどのように描けばよいかを検討しながら、下書き用紙に配置や大きさなどをラフに描きます。特に、この問題では各要素の大きさが指定されていないため、相対的な比率から大きさのバランスを考えます。

風呂桶の材質がアクリルであることから、透明感を出すために反射や屈折を考えて、桶の中に入れられたシャンプーボトルとリンスボトルを描くことが大切です。このとき、シャンプーボトルとリンスボトルを区別できるように描き分けると良いです。また、タオルがよれたような状態やイニシャル2文字を効果的に見せるため、陰影の付け方を工夫し立体感を表現します。

